

省エネルギー法に基づく 管理標準	受変電設備 管理標準	整理番号：０１０	
		第１版	頁：１

1. 目的
このエネルギー管理標準は、省エネルギー法第４条並びに告示「判断基準」に基づき、運転管理、計測記録、保守点検を適切に行い、エネルギーの使用の合理化を図ることを目的とする。
2. 適用範囲
倉敷市児島市民交流センターに設置された受変電設備に適用する。

項目	内容と管理基準	判断基準	備考
管 理	電力使用量のピーク時間帯を避けて運転できるものは、ピーク時間帯の運転を避けるよう努める。	(4)①ア	
	受電端における力率について、９５％以上とすることを基準として進相コンデンサー等を制御する	(4)①イ	
項目	内容と実施頻度	判断基準	関連文書
計 測 記 録	受配電設備主要部の電気使用量、電圧、電流値等の計測・記録を行う。 １回／日、月。	(4)②	日常点検表 月次点検表
保 守 点 検	定期的に、保守・点検・修理をおこなう。１回／月。	(4)③	電気保安規定
	全停電日を設け、保守点検を実施する。１回／年。	(4)③	電気保安規定

新設の措置（新設、更新、修理の際に検討する事項）
・変圧器の新設にあたり、①負荷率の適正化の考慮、②高効率変圧器の導入を行う。
・計測監視の管理の細分化・自動化の拡大を計る。

下線部は、今後の徹底項目（改訂時の重点ポイント）とする。

文書履歴（制定及び改廃）			担当部課：児島市民交流センター	
年 月 日	版数	改訂内容	検討及び立案	承認
H28. 12. 14	1	書式変更に伴う見直し	所長	事務局長

●検討及び立案：施設エネルギー管理推進者（所長もしくは主任）、●承認：事務局長、●報告：省エネ・温暖化対策推進委員（文化振興課課長）●原本（紙及び電子媒体）の保管：施設及び事務局が保管、●写し（電子）の保管：電子で地球温暖化対策室が保管